

校長室だより

共学共高

第
96
号

令和8年9月14日発行

発行責任者

白梅学園高等学校長

武内 彰

白梅祭りリハーサル参観記

9月11日（金）午後及び9月12日（土）午後に行われた部活動の舞台発表団体のリハーサルを参観した。というのも、私が白梅祭当日はクラス企画を見て回るのに精一杯で、部活動の発表を見ることができないからである。一般公開当日の様子ではないことをお断りさせていただく。

まずは、軽音楽部である。アンプやスピーカーの位置取り確認やPA（Public Address）の調整などがメインである。部員総出で協力しながら行っている。部内のオーディションを経て選ばれたバンドが3分の持ち時間の中で、曲の確認している。もはや私の知っている曲は皆無ではあるが、なかなか選曲はいい。委員会の仕事で忙しいのか、メンバーのそろっていないバンドもあり、顧問のS先生がドラムをたたく場面もあった。



次にダンス部である。全体的に可愛らしいガールズ系のダンスが多いような印象を受けたが、後で部員のSさんに聞いたところ、ガールズ系、ジャズ系、ヒップホップ系とすべてのジャンルを踊ったとのことであった。テンポのよい、キレイの動きを見せてくれる。途中、夏の大会で披露した創作ダンス（?）も織り交ぜながら、表現力のあるダンスを見せてくれた。激しい動きでまさに運動部のような。本番当日は、衣装も含めて観客を楽しませてくれるに違いない。



続いて書道部である。私が本校に着任した頃は、部員が10名に満たなかった記憶がある。今は、大所帯となり、部の発展を嬉しく思う。1年生による大きな作品の制作、2年生による小さな作品と大きな作品の制作と続く。小さな作品を書くところでは、エンターテインメント的な要素が盛り込まれていて、見る者を楽しませてくれる。大きな作品の制作では、チームワークよく動いている。各学年からのメッセージは「邁進」と「感謝」がテーマであった。



続いてバトン部である。いつもながら全体的に力強くも可愛らしいチアやバトンを見せてくれる。私も知っている懐かしい曲、AKB48のカチューシャに合わせて踊る場面もある。3年生4名によるバトンも見事であった。ペアになってバトンを空中高く投げ、相手の投げたバトンをキャッチする、あるいは4人全員で同様に投げてキャッチするといった、難易度の高い技も披露してくれた。何年生の演技かわからなかったが、途中で靴が脱げてしまった生徒が二人生じてしまったが、動揺することなく最後まで貫いてくれた。



続いて吹奏楽部である。夏の都コンクールでは金賞を受賞、東日本大会代表選考会にも進んだ実力派である。上下黒の衣装に身を包み、楽器のパートごとにネクタイの色を変えている。まずは、各パートのポジションの確認である。前後で重ならないように位置を修正する。その後は、音を出してバランス練習。指導員の先生から「上を向いて吹くように」との指示が出される。最初の演奏曲は、1974年の全日本吹奏楽コンクールの課題曲であった「高度な技術への指標」である。リズム変化や転調があるが、しっかりとした演奏をしている。続いて部分的な演奏ではあるが、木管による「天国と地獄」、金管による「バックトゥー・ザ・フューチャー」が披露される。さらにジャズ系の曲である「スイングしなけりゃ意味がない」と続く。私は演奏を聴きながら、「海外で演奏しても十分に喝さいを受けるな」と感じた。結びは、「星に願いを in POP」と、ディズニー系の曲である。当日は、小学生に

も楽しんでもらえることだろう。



続いて演劇部である。演劇部員たちが、赤ずきんの物語をつくっていくストーリーである。赤ずきんは、キャストのリアリティにこだわる。例えば、オオカミは本物のオオカミを連れてくることを求める。おばあさん役には、赤ずきん自身の祖母を連れてくるといった具合だ。私も所々で思わず笑ってしまう。演技力も新入部員数もバージョンアップして頼もしい。今回の脚本は、オリジナルではないとのことだ。



続いて合唱部である。Y先生からハモリの指導などを受けてから、曲が披露された。夏のNコンで歌った「スパークル」である。アニメ映画「君の名は」のテーマソングでもあるようだ。声を前へ出す、明るく歌うことによって、歌声がとても奇麗になる。もう1曲は「桜の花びらのように」を演奏する予定であったが、部員が一人そろわずに歌声を聴くことができなかったのは残念であった。今後も部員を獲得して美しい歌声を響かせてほしい。



最後に箏曲部である。複数の琴を台の上にセットしてから調弦をする、また、弦に付いた黒色の印を短い糸を使って取る、といった準備を行う。みんな手際よく行っている。演奏前に部長が全体に注意事項を伝える。1曲目は1年生による「花筏（はないかだ）」である。春の川を桜の花びらが流れていく様子を表現している。2曲目は、1・2年生による「忘れじの言の葉」である。独特のリズムが特徴のようだ。3曲目は、先輩たちが大切にして受け継がれてきた曲、「飛躍」である。演奏を聴いて、全体的にレベルアップしているなど感じる。この調子で盛り上げていってほしいものである。浴衣姿もよく似合っていて素敵だ。



白梅祭当日のクラス企画等については、次号で御報告させていただく。

（共学共高とは：本校のディプロマポリシー（育てたい生徒像）の一つで、「共に学び、共に高め合う」生徒の姿を表す）